

糖尿病治療における歯科・医科連携推進モデル事業
(平成22年度～25年度) 事業報告書 別冊

医科歯科連携 (主に糖尿病－歯周病) に係る状況調査
調査報告書

一般社団法人滋賀県歯科医師会
(歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会)

滋 賀 県

医科歯科連携（主に糖尿病－歯周病）に係る状況調査

一般社団法人滋賀県歯科医師会

1. 趣旨

日本人の食生活の欧米化ならびにライフスタイルの変化に伴って、生活習慣病として糖尿病患者が急激に増加している。また、歯周病罹患率は成人の8割とも9割ともいわれ、依然として歯の喪失の主たる原因となっている。

近年、歯周病は糖尿病の6番目の合併症とされ、糖尿病患者の多くが重度の歯周病に罹患していると考えられる。また、歯周病という慢性炎症は糖尿病患者の血糖のコントロールを妨げ、合併症の発症を助長する。つまり、糖尿病と歯周病は密接な関係にあり、歯周病患者にとって糖尿病治療が、糖尿病患者にとって歯周治療が必要であることから、医科と歯科が共同でこれに携わる必要性がある。

そこで、滋賀県歯科医師会では、滋賀県内における医科歯科連携の現状把握ならびに推進の基礎資料とするため、滋賀県医師会・滋賀県病院協会のご協力のもと、平成24年度より標記「医科歯科連携（主に糖尿病－歯周病）に係る状況調査」を開始した。今回（平成25年度）は2度目の調査となり、昨年度数値との比較による考察も試みている。

本調査結果が、県民の口腔の健康、ならびに糖尿病の改善につながり、QOL向上の一助となれば幸いである。

◇なお、本調査は滋賀県より滋賀県歯科医師会への委託事業「糖尿病治療における歯科・医科連携推進モデル事業」の一環として実施されたものである。

2. 調査概要

<平成25年度>

◆調査対象：計 1,347件

*滋賀県医師会会員診療所・・・820診療所

*滋賀県歯科医師会会員診療所（病院会員を除く）・・・469診療所

*病院 歯科・口腔外科・・・21病院
（滋賀県病院協会会員病院のうち、歯科・口腔外科がある病院）

*病院 地域連携関係部署・・・37病院
（滋賀県病院協会会員病院のうち、歯科・口腔外科が無い病院）

◆調査対象期間：平成25年1月～12月（過去1年間）

◆調査実施方法：調査票郵送による自記式調査とし、FAXによる返信で回収。

◆調査実施時期：平成25年12月下旬～平成26年1月17日（締切）

◆回収状況：計 522/1,347件（39%）

*滋賀県医師会会員診療所・・・89/820診療所（11%）

*滋賀県歯科医師会会員診療所・・・402/469診療所（86%）

*病院 歯科・口腔外科・・・17/21病院（81%）

*病院 地域連携関係部署・・・14/37病院（38%）

<平成24年度>

◆調査対象：計 1,347件

*滋賀県医師会会員診療所・・・814診療所

*滋賀県歯科医師会会員診療所（病院会員を除く）・・・474診療所

*病院 歯科・口腔外科・・・21病院

（滋賀県病院協会会員病院のうち、歯科・口腔外科がある病院）

*病院 地域連携関係部署・・・38病院

（滋賀県病院協会会員病院のうち、歯科・口腔外科が無い病院）

◆調査対象期間：平成23年12月～平成24年11月（過去1年間）

◆調査実施方法：調査票郵送による自記式調査とし、FAXによる返信で回収。

◆調査実施時期：平成24年11月中・下旬～平成24年12月25日（締切）

◆回収状況：計 464/1,347件（34%）

*滋賀県医師会会員診療所・・・120/814診療所（15%）

*滋賀県歯科医師会会員診療所・・・304/474診療所（64%）

*病院 歯科・口腔外科・・・17/21病院（81%）

*病院 地域連携関係部署・・・23/38病院（61%）

※調査に使用した「調査票」を、巻末に参考資料として掲載した。

なお、H25年度とH24年度で調査票の体裁は若干異なるが、調査結果に影響するものではないため、H25年度の調査票のみを掲載している。

「糖尿病 - 歯周病 医科歯科連携実施数調査」(H23～H25) について (P19～)

連携の有無及び関連状況について調査する「状況調査」とは別に、糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の「実施数」を把握する目的で、平成23年度～25年度の3年間にわたり、滋賀県歯科医師会会員診療所および病院歯科・口腔外科を対象に調査を行った。（平成25年度は状況調査と同時実施）本調査結果についても、P19以降に掲載する。

なお、こちらの調査の調査概要については掲載ページに記載したので、ここでは省略する。

調査結果【医科診療所】

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査

◆回答数（配布数 H24:814 H25:820）回収率：H24:15% H25:11% ◆診療科目

年度	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	合計	年度	内科	内科以外	合計
H24	28	27	5	19	18	7	16	120	H24	80	40	120
H25	26	3	3	10	26	8	13	89	H25	60	29	89

(1) 過去1年間で、糖尿病と歯周病に係る医療連携（歯科への糖尿病患者の情報提供、または歯科から歯周病患者の情報提供を受けた）の実績はありますか。

H 2 5						H 2 4			
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
はい	歯科への紹介	7	16	10%	24%	14	26	15%	29%
	歯科からの紹介	1		1%		5		5%	
	両方	8		12%		7		8%	
糖尿病治療を行っているが歯科との連携はない		52	52	76%	76%	65	65	71%	71%
糖尿病治療を行っていない		21	21	-	-	29	29	-	-
合 計		89	89	100%	100%	120	120	100%	100%

(2) (1) の連携で用いたツールとして使用しているもの（複数回答可）

選択肢（数値は件数）	H25	H24
1. 糖尿病地域連携クリティカルパス	2	2
2. 糖尿病連携手帳	4	4
3. 紹介状	13	21
4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」	0	0
5. その他	0	3

◎「(2) 5. その他」の内訳 (H25)

(無し)

(H24)

* 通院中の患者に歯科受診を勧めている
* 受診を勧められて来院された
* 当院のデータを記載したオリジナル手帳

(3) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取り組み案、歯科への要望等についてご記入下さい。

◇取り組み提案（歯科との連携）

* 定期的な合同勉強会の開催。

◇取り組み提案（歯科への提言）

* 医科受診時に歯の状況について話すよう歯科で患者に勧める。
* 糖尿病連携手帳を患者に提示してもらい、記載することの徹底。
* 一般啓発ポスター・リーフレット等の更なる活用。
* 歯科でも患者のカロリー計算を行い、特に炭水化物・蛋白質についての指導は必要ではないか。間食については特に質的・量的な指導は必要だと思う。
* 問診やP検査で顕性糖尿病を発見して、HbA1c>8% (NGSP)の方は糖尿病専門医へ。

◇取り組み提案（一般啓発等）

- * 糖尿病と歯周病の関係について、患者の認識がまだまだ低い。さらなる啓発が必要。（5）
- * 歯周病検診の無料パス発行など、行政からのアプローチが必要。（2）

◇医科診療所での取り組み

- * 眼科とは糖尿病連携手帳を通して情報交換している。手帳は当院で患者に渡している。患者には最低年1回は眼科を受診してもらっている。歯科とも同様の関係がとれると良いと思う。（2）
- * 歯周病、糖尿病連携手帳を媒介とした情報交換、連携を今後はしていきたい。

◇課題・意見・疑問等

- * 医師が糖尿病患者における歯周病ケアの重要性に関して無知、無関心である。
- * 糖尿病患者に歯科受診を勧めるも、返事の割に本当に受診する人が少ない。
- * 歯周病の診断が出来ないが、糖尿病患者を全て紹介すればよいのか。

(4) 県歯科医師会作成・配布の下記媒体についてご存じですか。

◇「糖尿病と歯周病の関係」一般啓発リーフレット・ポスター

H 2 5					H 2 4				
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
知っている	保健指導等で活用	4	46	4%	52%	3	54	3%	45%
	待合室に設置	25		28%		16		13%	
	活用していない	17		19%		35		29%	
知らない		43	43	48%	48%	66	66	55%	55%
合 計		89	89	100%	100%	120	120	100%	100%

◇「糖尿病-歯周病連携推進歯科医療機関リスト」

H 2 5					H 2 4				
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
知っている	活用したことがある	4	40	4%	45%	4	33	3%	28%
	活用したことはない	36		40%		29		24%	
今回まで知らなかった		49	49	55%	55%	87	87	73%	73%
合 計		89	89	100%	100%	120	120	100%	100%

(5) 糖尿病以外の歯科との医療連携について、行ったことがあるもの（複数回答可）

H 2 5					H 2 4			
選択肢	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無
1. 在宅医療	20	22%	47	53%	21	18%	60	50%
2. がん	4	4%			4	3%		
3. 冠動脈疾患	9	10%			10	8%		
4. 脳血管疾患	11	12%			13	11%		
5. その他	17	19%			29	24%		
6. 歯科と連携したことはない	42	47%	42	47%	60	50%	60	50%
合 計	103	116%	89	100%	137	114%	120	100%

※「分布」「連携有無」の母数は（複数回答の重複を除いた）実際の医療機関数（H25:89件）

◎「(5) 5. その他」の内訳 (H25)

内服薬剤の情報交換 (4) / 骨粗鬆症 (2) / 抜歯 (2) / 顎関節症 / 常嚙膿疱症 / 自己免疫疾患 / 金属アレルギー / 智歯周囲炎 / 義歯性口内炎 / 歯肉炎 / 口腔内腫瘍 / 認知症 / 抜歯に関する抗血小板剤や抗凝固剤についての報告

(6) 糖尿病以外の歯科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取組み案、歯科への要望等についてご記入下さい。

◇取組み提案 (歯科との連携)

* 定期的な合同勉強会の開催 (2)

◇取組み提案 (歯科への要望・提言)

- * 歯周病治療によって得られる具体的なメリットを広く一般に啓発すべき。(3)
- * 各歯科医療機関がどのような疾患に対応できるのか分かるようにしてほしい。(3)
- * 在宅患者の摂食・嚥下障害に取り組む歯科医療機関の増加を希望。(2)
- * 往診のできる歯科を増やしてほしい。
- * 訪問歯科診療実施医療機関リストが欲しい←※歯科医師会ホームページを紹介した。
- * 抜歯時の高血圧症患者の管理について、歯科医師会で研修会を実施し、共通認識を持ってほしい。
- * 医科受診時に歯の状況について話すよう、歯科で患者に勧めてほしい。
- * 「こういう時は歯科受診を勧めて下さい」という具体的な情報があれば患者を紹介しやすい。
- * 歯科医師会に入会されている先生方と連携をとりたいと考えている。患者から見ても、歯科医師会に入会されていることが一目で分かるようにして頂きたい。

◇課題・意見・疑問等

- * お互いを知りあう場が無い。
- * 抗凝固薬や抗血小板薬に対し、抜歯の時の対応が歯科により異なる。
- * 抜歯時に顎骨壊死の予防に骨粗鬆症の薬でビスホスホネートではなく、選択的エストロゲン受容体モジュレーターのエビスタを3か月間の休薬を指示され困った。
- * 以前、ビスフォスフォネートによる顎骨壊死の問題で歯科から一方的に糾弾された。
- * 骨粗鬆症の治療薬であるビスフォスフォネート剤の投与について、歯科治療との連携が必要だが、情報が十分に共有されていない現状である。

医科診療所の調査結果についての考察

前年度の実績に比べ、回答数が減少し、医科歯科連携実績も一部を除き減少している。歯科からは、事業内容の周知を何回も行ったので、事業についての理解は深まっていると思われるが、関心が持続されていないようである。また、糖尿病が専門でない、歯周病の診断ができない等の理由で、当事業への参加を見合わせている先生方もおられるようである。

連携で用いるツールについては、従来からの紹介状を用いることが多く、糖尿病連携手帳の利用がそれに続いている。紹介状と連携手帳を併用されている場合も多い。滋賀県歯科医師会作成「歯と口の健康管理票」は、あまり利用されていない。

4年間に亘る事業の結果、県歯科医師会作成・配布のリーフレット・ポスターを保健指導で活用したり、待合室に設置したりする医療機関が増加した。このことは以前には見られなかったことであり、大変嬉しく思っている。病院内の糖尿病教室で、歯科医師が講話を行ったり、内科医が患者に歯周病予防啓発リーフレットを手渡したりする病院もあり、今後の展開に期待したい。

糖尿病以外の連携では、在宅医療、周術期医療で連携強化が考えられる。医科歯科連携は益々重要度を増しているため、お互いを知り、医科歯科双方向での密なる情報交換を推進していかなければならないと考える。

滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員 澤 秀樹

調査結果【歯科診療所】

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査

◆回答数（配布数/H24：474件 H25：469件） 回収率/H24：64% H25：86%

年度	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
H24	60	55	40	43	40	49	17	304
H25	79	101	43	78	44	40	17	402

(1) 過去1年間の貴診療所における以下の件数（連携実施数）をご記入下さい。

→※設問は上記の通りですが、連携実施数については別途集計するため、ここでは連携の有無（＝実施医療機関数）についての集計結果を掲載します。

H25					H24			
選択肢	件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
はい	医科からの紹介	23	50	6%	27	50	9%	16%
	医科への紹介	20		5%	15		5%	
	両方	7		2%	8		3%	
実績なし	352	352	88%	88%	254	254	84%	84%
合計	402	402	100%	100%	304	304	100%	100%

(2) (1) について、「医科への糖尿病に関連しての歯周病患者の紹介」が1件以上ある先生のみ、下記件数をご記入下さい。

紹介患者について、実際に医科を受診された患者数	H25			H24		
	受診	紹介	分布	受診	紹介	分布
	32	49	65%	22	79	31%

(3) 連携で用いたツールとして、使用しているもの（複数回答可）

選択肢（数値は件数）	H25	H24
1. 糖尿病地域連携クリティカルパス	2	2
2. 糖尿病連携手帳	14	13
3. 紹介状	32	33
4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」	8	9
5. その他	4	5

◎「(3) 5. その他」の内訳 (H25)

(H24)

*電話 (2) *口頭で勧めた (2)

*患者が口頭で (5)

(4) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取組み案、医科への要望等についてご記入下さい。

◇取り組み提案（医科へのアプローチ）

*医科からの糖尿病歯周病の関連性の指摘が効果的。定期的な交流会（勉強会）の開催、内科医との顔の見える関係づくり。(14)

*医科開業医に、歯周病治療が糖尿病改善に効果的であることの更なる周知。医科歯科の共通認識が確立されるまで、地道なアナウンスをし続けること。(14)

*医師に歯周病の理解を深めてもらうため医師会を通じてセミナー開催などに取り組む。(2)

◇取り組み提案（歯科での取り組み）

- * レベルの均一化の為に、歯科で糖尿病についての定期的勉強会の開催。（3）
- * 地道に今ある連携を継続していくことが推進につながる。
- * 糖尿病の診断ポイントをまとめて（歯科に）配布してはどうか。
- * 連携ツールの一本化。
- * 糖尿病と歯周病の関連性のエビデンスを確立して、医科に理解して頂く。
- * 歯周病として歯科治療が必要となる（歯科へ紹介する）医科での判断基準を説明するツールを作成する必要があると思う。

◇取り組み提案（一般県民啓発）

- * 糖尿病歯周病の関係についての認知向上、患者の自主的な歯科受診の促進の為に、TV や新聞、パンフレット配布、健康関連イベントなどあらゆる機会を通じて啓発活動（8）

◇医科への要望

- * 医科からの説明だと患者は反応するが、歯科側からだと「一応聞いておこう」どまりで反応が薄い。医科から患者に積極的なアナウンスを望む。（8）
- * 歯科医師会の「糖尿病と歯周病の関係」リーフレットを医科でも配布してほしい。（2）
- * 内科医の歯周病に対する関心・知識の向上。
- * HbA1c の数値を1年もしくは半年分ぐらいまとめて知りたい。歯科に分かりやすい連携様式があると良い。

◇現状における課題・意見等

- * 歯科が思っているほど医科では重要視、認識されていないように感じられる。（14）
- * 「歯と口の健康管理票」は書きづらい。もっと簡単なものがよい。（6）
- * 連携をとって治療にあたるのは重要であるが、歯科の方ばかり負担が増えて、負担に伴った収入が無いことには意欲がわかないのでは？連携に係る保険点数の新設が必要。（5）
- * 患者に（医科受診を）説明するも拒否されることが多い。（3）
- * 医科歯科双方とも、（患者が）どの程度の状態なら紹介できるのか。（2）
- * 糖尿病－歯周病連携に取り組むのは自分には敷居が高いように感じられ、できていない。何かきっかけがあれば流れに乗れるかもしれない。（2）
- * 医科から歯科への紹介については、ある程度の信頼関係が構築された医院になるので、そのあたりが課題と思われる。
- * 医科におけるメリットが少ない。必要な事ではあるが、歯科のメリットの為のような感じになっている。医科にインセンティブを与える必要がある。
- * 歯科から医科への紹介はハードルが高い。患者本人、医師の認識不足解消に向けて、行政などが組織的に働きかける必要があると思う。
- * 糖尿病と歯周病の関連について、それぞれの病態による明らかな改善が分からないため、その必要性を感じていないのが本当のところではないか。
- * 連携手帳未交付の患者が多く、HbA1c 等の確認が困難。
- * 歯科でも血糖値の簡易検査ができるようにしてほしい。
- * （患者が医科を受診するまでに）時間がかかりすぎる（ので患者の状態が変わってしまう）。
- * 歯科・口腔外科の入っている病院とは、気分的にも連携がとりやすいが、それ以外の病院ではどこまで連携がとれるか不安。一般の医科診療所とはこれまで通り情報提供書のやり取りで特に不十分な感じはない。
- * 医科への対診はなかなか抵抗があるように感じる。

◇歯科診療所での取り組み事例

- * 受付にて、問診票で糖尿病の既往歴にチェックされた方には糖尿病連携手帳を出して頂くよう説明している。地道な作業で、歯科医が糖尿病の数値・状態も見ているということを知らせていくことが大事。

(5) 本会作成の「糖尿病と歯周病の関係」一般啓発リーフレット・ポスターについてご存じですか。どれか1つに○をつけて下さい。

H 2 5					H 2 4				
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
知っている	保健指導等で活用	43	357	11%	89%	28	282	9%	93%
	待合室に設置	211		52%		169		56%	
	活用していない	103		26%		85		28%	
知らない		45	45	11%	11%	22	22	7%	7%
合計		402	402	100%	100%	304	304	100%	100%

(6) 糖尿病以外の医科との医療連携について、行ったことがあるもの(複数回答可)

H 2 5					H 2 4			
選択肢	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無
1. 在宅医療	75	19%	191	48%	62	20%	144	47%
2. がん	63	16%			32	11%		
3. 冠動脈疾患	55	14%			45	15%		
4. 脳血管疾患	73	18%			64	21%		
5. その他	49	12%			32	11%		
6. 医科と連携したことはない	211	52%	211	52%	160	53%	160	53%
合計	526	131%	402	100%	395	130%	304	100%

※「分布」「連携有無」の母数は(複数回答の重複を除いた)実際の医療機関数(H25:402件)

◎「(6) 5. その他」の内訳(H25)

耳鼻科(6) / ビスフォスフォネート関係(5) / 金属アレルギー(4) / 高血圧症(4) / 睡眠時無呼吸症候群(4) / 鼻性上顎洞炎の耳鼻科紹介(3) / 骨粗鬆症(2) / 透析(腎疾患)(2) / 血液疾患(2) / 心疾患(2) / 膠原病(2) / 病院入院患者の口腔ケア(2) / 全身疾患は何でも(2) / 顎関節症 / 薬物アレルギー / 口唇口蓋裂 / アナフィラキシーショック / 感染症 / 副鼻腔炎 / マウスピース / 三叉神経痛 / 慢性・消耗性疾患 / 神経科疾患 / 整形外科の外科治療 / 外傷 / リウマチ / 発達障害 / 人工弁 / 不定愁訴 / 症状や抜歯の可否について問い合わせ

(7) 糖尿病以外の医科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取組み案、医科への要望等についてご記入下さい。

◇取組み提案(医科へのアプローチ)

- * 医科から歯科への連携依頼が少ないのは、相互交流が無いためではないか。地区ごとに研修会や交流会を設けて、顔を知りあう努力が必要。(12)
- * 医科の先生に歯科の知識・理解を持って頂くために、医科向けの一般歯科全般の治療方法の講習会を開催。(3)
- * 患者を紹介し合える人間関係づくりが大事。(2)
- * 医科の先生方に口腔診査(カリエス・歯肉炎等の診断等)のチェック表をマークしてもらう。歯科がチェック表を作って配布。
- * 看護師さん対象の研修会の開催。

◇取り組み提案（歯科での取り組み）

- * 歯科医自身の全身的疾患の病態の知識不足が多く、研修が必要。（3）
- * 有病者の歯科受診全般について双方向で情報共有できるような伝達手段（ex. 患者受診手帳）があると良い。（2）
- * 糖尿病以外にどのような内科的疾患で医科との連携が必要かについて、研修会を開催してほしい。
- * 土日も診療するスタイルを確立してしまっており、年齢・体力的にもう訪問診療には積極的に参入できない。県歯の新規入会の先生方には、早期から訪問診療を診療の一環に取り入れるよう会から勧めてはどうか。
- * 通院・入院患者（内科中心）の健康管理（口腔衛生や食事管理、摂食不良の改善）のための歯科受診を勧めていくのがよいと思う。
- * 産婦人科へのアプローチ。
- * 医科よりも患者（一般県民）に情報の周知を。

◇医科への要望

- * 在宅診療に行かれている医科の先生は、口腔内の問題に注目して頂き、歯科的アプローチのきっかけを作って頂きたい。（2）
- * 患者の状態は必ず文書で、詳しく提供してほしい。病名だけのことがあった。（2）
- * 医科の処方する薬剤の副作用の中に、歯科に影響するものが多く存在する。それらについて、歯科の先生方に理解を深めてほしい。
- * 全身疾患の症状の程度などを分かりやすく提示してほしい。

◇現状における課題・意見等

- * 開業医は院長のキャラクターにより紹介患者の受け止めに差があるため、紹介に不安がある。（2）
- * 医科の方が患者との関わりが長いことが多いので（歯科は）情報をもらうだけになっている。もう少し歯科からも情報発信できると良い。
- * 医科の検査情報などが IC カードに入るようになって、読み込んで情報を得られるシステムがあれば便利である。
- * 地域によって、医科との普段からの交流に差があり、それが連携の差でもあるように感じられる。（ゴルフなど、医科の先生と接する機会がある地域とない地域での差が大きい）
- * 医科からの紹介を受けても、カルテそのままといった感じで内容がすぐには理解できないケースがあるのではないか。
- * リスクに対する医科歯科共通の尺度（がほしい）
- * ビスフォスフォネート製剤について医科歯科の見識の統一が図られると良いと思う。合同の勉強会を開催してほしい。
- * 最終的には患者本人を説得・納得させる必要があり、地道な啓発活動を継続していく必要がある。
- * 最近、内科で処方された血液の薬を内服している患者で、抜歯時の外科的侵襲の心配をされる方が現れるようになってきた。

◇診療所での取り組み事例等

- * 近くの（医科の）先生方には結構お世話になっている。電話での質問などによく答えて下さっていつも助かっている。
- * 耳鼻科や心療内科との連携を今後行っていきたい。

歯科診療所の調査結果についての考察

平成25年度は平成24年度に比して、歯科診療所のアンケート回答数が増えた。この事は、「糖尿病と歯周病の密接な関係」に対する理解が歯科医師により浸透してきたことを示していると考えられる。連携数調査では、数値としては伸び悩んでいる一方、連携件数（医療機関数）はほぼ同数で変化がない。医科を受診している患者の中には既にかかりつけ歯科を受診している患者もいること、医科が患者に対して歯科受診の指示をしても患者が「問題ない」と受診を控える可能性があることなどから、医療機関数が維持されていることは新たな連携が生まれている、と評価できる。

歯科診療所に通院している患者に医科受診を促すには、歯科医師と患者のコミュニケーションがとれていることが必要であると考えられる。コミュニケーションのとれている患者を増やさない限り、医科への紹介数は経年的に減少する可能性がある。そのような状況の中でも新たに紹介された患者がいることに、歯科の先生の継続的な連携への意気込みを感じる。連携には様々な様式があり、患者のニーズに応じた紹介方法をとる事が、患者の受診を促す環境を作る事となるため、糖尿病連携手帳に軸を置きながら、さまざまな方法の混在を認めた方が良いのではないかと思われる。

今後も、糖尿病と歯周病の関係について、患者、医療機関、地域への定期的な働きかけを継続し、連携を更に推進することが地域医療への貢献となると考えられる。

滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員 眞岡 淳之

調査結果【病院歯科・口腔外科】

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査

◆回答数（配布数／H24・25とも21件） 回収率：H24・25とも81%

年度	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	合計
H24	3	3	2	2	3	2	2	17
H25	6	2	1	1	3	3	1	17

(1) (2) 過去1年間の貴院における以下の件数（連携実施数）をご記入下さい。

→※設問は上記の通りですが、連携実施数については別途集計するため、ここでは連携の有無（＝実施医療機関数）についての集計結果を掲載します。

H25					H24				
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
はい	歯科への紹介	7	13	41%	76%	5	13	29%	76%
	歯科からの紹介	0		0%		0			
	両方	6		35%		8			
実績無し		4	4	24%	24%	4	4	24%	24%
合計		17	17	100%	100%	17	17	100%	100%

H25					H24				
選択肢		件数	小計	分布	小計	件数	小計	分布	小計
医科から紹介	1. 院内の内科から	9	13	53%	76%	11	13	65%	76%
	2. 院外の内科から	2		12%		0			
	3. 両方	2		12%		2			
医科への紹介	1. 院内の内科へ	4	6	24%	35%	5	9	29%	53%
	2. 院外の内科へ	1		6%		0			
	3. 両方	1		6%		4			

※「分布」の母数は（複数回答の重複を除いた）実際の医療機関数（H24・25ともに17件）

(3) 医科との連携で用いたツール（複数回答可）

選択肢（数値は件数）	H25	H24
1. 糖尿病地域連携クリティカルパス	0	0
2. 糖尿病連携手帳	2	0
3. 紹介状（院内他科受診依頼箋等を含む）	13	13
4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」	0	0
5. その他	0	0

(4) 貴院での糖尿病教室等の糖尿病療養指導に、歯科医師会派遣の歯科医師による患者対象の歯周病予防指導（講習会）を加えることは可能ですか。

選択肢（数値は件数）	H25		H24	
1. 既に院内で行っている	6	35%	5	29%
2. 今は行っていないが今後行ってみたい	5	29%	5	29%
3. 不可（糖尿病教室を行っていない等）	6	35%	7	41%
合計	17	100%	17	100%

(5) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取組み案等についてご記入下さい。

*患者啓発（CM、広告）、およびそれにつながる取組み（データの蓄積、EBM）（2）
 *患者の認知度が低い。
 *継続できる連携の構築。糖尿および他疾患の患者をすべて病院口腔外科に紹介しては病院がもたない。
 *糖尿病専門看護師育成事業が続けられている中で、歯周病専門看護師が無く、糖尿病の一合併症としてとらえられていることが歯周病の認識の甘さとなっている。これを改善する努力が必要。

(6) 県歯科医師会作成・配布の「糖尿病と歯周病の関係」に関する下記媒体について活用しておられますか。

選択肢（数値は件数）		H25		H24		
院内待合室用 DVD	1. 活用している（待合室等で放映）	3	18%	3	18%	
	2. 活用していない	14	82%	14	82%	
リーフレット ・ポスター	1. 活用している	保健指導で	2	59%	4	71%
		待合室設置	8		8	
	2. 活用していない	7	41%	5	29%	
連携推進 歯科医療機関リスト	1. 活用している	3	18%	5	29%	
	2. 活用していない	14	82%	12	71%	

(7) 糖尿病以外の医科との医療連携について、行ったことがあるもの（院内での他科との連携も含む。複数回答可）

H 2 5					H 2 4			
選択肢	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無	件数	分布	実際の医療機関数	連携有無
1. 在宅医療	3	18%	14	82%	5	29%	15	88%
2. がん	13	76%						
3. 冠動脈疾患	8	47%						
4. 脳血管疾患	10	59%						
5. その他	4	24%						
6. 医科と連携したことはない	3	18%	3	18%	2	12%	2	12%
合計	41	241%	17	100%	42	247%	17	100%

※「分布」「連携有無」の母数は（複数回答の重複を除いた）実際の医療機関数（17件）

◎「(7) 5. その他」の内訳 (H25)

*BP 投与患者の治療時の口腔ケア (4)

(8) 糖尿病以外の医科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取組み案等についてご記入下さい。

- * 医科の先生は、口腔疾患の全身への関わりについて関心が薄い。色々な機会を利用して歯科から積極的な働きかけを。(2)
- * 「顔の見える関係づくり」は(医科歯科の)若い世代で、どうするのが効果的か話し合うことが重要。
- * 患者への働きかけ(「歯・口腔疾患と全身の健康の関わり」のPR)
- * 医師不足により、医師の負担となりうる連携には取組みにくい。

病院歯科・口腔外科の調査結果についての考察

前回同様、県内の歯科口腔外科を有する病院21院のうち17院より回答を頂いたが、依然として未回答の病院がある。他の調査対象と比べて、より歯科との連携が取りやすい状況にあることを考えると、本事業を進める中でいくつかの問題点、例えば少ないスタッフの中での受け入れ体制の問題、病院内科の本事業への関心度等が影響しているのかもしれない。

調査結果の内容については、概ね前年と同様の傾向を示している。患者啓発については、患者の認知度が低いので、CM、広告にて連携推進を行うことが効果的な取組みとして必要であるとの声をいただいている。一方で、県歯科医師会作成・配布の媒体が、前年に比べ活用されていない割合が増加している点が気になる点である。なぜ媒体が活用されていないのかの検証も必要なのではないだろうか。

患者情報提供数においては糖尿病連携手帳を用いての連携で著しく数字を伸ばした地域もある。糖尿病教室等の糖尿病療養指導に、歯周病予防の講話を行った病院は17院中5から6院に増えた。今後もその取り組み次第によっては、より一層糖尿病における医科歯科連携を進展させることができるのではないかとと思われる。

それには本事業の大きな成果の一つである、各地域で立ち上がった医科歯科連携検討会において、各地域それぞれで明確化してきた問題点に対して、各地域の実情に沿った形で改善していくことが今後の糖尿病における医科歯科連携の進展にとって大切ではないかと考える。

滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員 小川 益弘

調査結果【病院（地域連携関係部署）】

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査

◆回答数（配布数：H24:38件 H25:37件） 回収率：H24:59% H25:38%

年度	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	合計
H24	4	6	5	5	1	0	2	23
H25	3	5	3	2	0	0	1	14

(1) 過去1年間において、糖尿病と歯周病に係る医療連携（他病院歯科・外部歯科診療所への患者情報提供）を行われましたか。

選択肢（数値は件数）	H25		H24	
はい（歯周病と糖尿病に係る歯科との連携を行った）	3	23%	4	20%
糖尿病治療を行っているが歯科との連携はない	10	77%	16	80%
糖尿病治療を行っていない	1	-	3	-
合計	14	100%	23	100%

(2) (1) の連携で用いたツール（複数回答可）

選択肢	H25	H24
1. 糖尿病地域連携クリティカルパス	2	1
2. 糖尿病連携手帳	2	1
3. 紹介状（院内他科受診依頼箋等を含む）	3	4
4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」	0	0
5. その他	0	0

(3) 貴院での糖尿病教室等の糖尿病療養指導に、歯科医師会派遣の歯科医師による患者対象の歯周病予防指導（講習会）を加えることは可能ですか。

選択肢（数値は件数）	H25		H24	
1. 既に院内で行っている	2	14%	2	9%
2. 今は行っていないが今後行ってみたい	7	50%	8	35%
3. 不可（糖尿病教室を行っていない等）	5	36%	13	57%
合計	14	100%	23	100%

(4) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取組み案等についてご記入下さい。

- * 歯科医師は患者が糖尿病かどうかの判断ができず、また逆に、医師も歯周病かどうかの判断ができないのが課題ではないか。
- * 共通の紹介状のフォーマットがあると良い。
- * 糖尿病診療を行っているが、日常診療の中で歯周病に関する問診を行うのが時間的に厳しい。また、患者も直接関係ないと考えて訴えられないケースも多いと思われる。
- * 定期的に歯科医師が往診して下さることできっかけが作れるのではないかと思う。
- * 連携推進歯科医療機関リストを今後活用していきたい。

(5) 県歯科医師会作成・配布の「糖尿病と歯周病の関係」に関する下記媒体について活用しておられますか。

選択肢（数値は件数）		H25		H24		
院内待合室用 DVD	1. 活用している（待合室等で放映）	0	0%	0	0%	
	2. 活用していない	14	100%	23	100%	
リーフレット ・ポスター	1. 活用している	保健指導で	1	14%	1	26%
		待合室設置	1		5	
	2. 活用していない	12	86%	17	74%	
連携推進 歯科医療機関リスト	1. 活用している	0	0%	1	4%	
	2. 活用していない	14	100%	22	96%	

(6) 糖尿病以外の歯科との医療連携について、行ったことがあるもの（複数回答可）

H 2 5					H 2 4			
選択肢	件数	分布	実際の 医療機関数	連携 有無	件数	分布	実際の 医療機関数	連携 有無
1. 在宅医療	2	14%	10	71%	1	4%	14	61%
2. がん	0	0%						
3. 冠動脈疾患	0	0%						
4. 脳血管疾患	2	14%						
5. その他	7	50%						
6. 歯科と連携 したことはない	4	29%	4	29%	9	39%	9	39%
合 計	15	107%	14	100%	25	109%	23	100%

※「分布」「連携有無」の母数は（複数回答の重複を除いた）実際の医療機関数（H25:14件）

◎「(6) 5. その他」の内訳 (H25)

*療養病棟への往診（入院患者の歯科治療・口腔ケア）（7） *NST（栄養サポートチーム）
*誤嚥患者 *血液内科 *化学療法中患者 *小児科系疾患 *精神科系疾患

(7) 糖尿病以外の歯科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取組み案等についてご記入下さい。

*急性期での入院の場合、義歯を使用していない事が多く、いざ使用する場合に合わないことが多い。また、寝たきりの方の口腔ケアが不十分になっている。義歯の調整・口腔ケアのため、定期的に連携できるとありがたい。
*単科精神科病院なので、入院患者の歯科受診について困っており、歯科の往診のシステムがあればと思っている。
*当院で実施している嚥下外来へ在宅の患者を連れてくるのに（歯科医師が）苦勞されている。
*県歯科医師会作成・配布の媒体を知らなかった。今後活用させて頂きたい。

病院（地域連携関係部署）の調査結果についての考察

歯科・口腔外科のない病院における調査では、平成 25 年度は回答率が 38%と半数以下であった。そして、回答下さった病院においても、糖尿病と歯周病に係る歯科との連携がある病院は 3 病院（20%程度）に留まっている。

また、本会作成の「糖尿病と歯周病の関係」に関する患者向け啓発媒体（待合室用 DVD、リーフレット・ポスター）や連携推進歯科医療機関リストなどもほとんど活用されていないことから、口腔外科のない病院においては事業の成果は残念ながらまだあまり見られない。

ただ、歯周病・糖尿病以外での歯科との連携に関しては 70%以上あり、連携そのものがない訳ではない。したがって、今後も引き続き研修会や連携検討会議等による呼びかけを行い、「顔の見える関係づくり」による歯周病・糖尿病連携の推進を図っていく必要があると思われる。

また、「病院での患者対象の糖尿病教室等において、歯科医師会派遣の歯科医師による歯周病講話を加えることは可能か」という設問に関しては、既にいくつかの病院で行われており、さらに 50%の病院で「今後行ってみたい」と回答されていることから、一つの成果であるとともに、今後の取組みへのヒントになると思われる。

今年度で糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携事業は一旦終了することから、各地域における研修会・連携検討会議等の継続が不透明ではあるが、本事業および他分野で培われた医科歯科の「顔の見える関係」を基礎として、各地域で歯周病・糖尿病連携の維持・強化がなされることが望まれる。

滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員 堤 正彦

「糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数調査」(H23～H25)について

滋賀県内における糖尿病-歯周病医科歯科連携の実施状況の推移をみるため、平成23年度～25年度の3年間にわたり、滋賀県歯科医師会会員診療所および病院歯科・口腔外科を対象に、連携の実施数についての調査を行った。以下に標記調査の3年間の集計結果を記載する。

なお、3年間の推移が分かるよう、巻末に主な項目の「数値比較」を掲載した。

*平成25年度は標記調査と「医科歯科連携に係る状況調査」を同時に行ったが、平成24年度は別々に実施しており、平成23年度はまだ「医科歯科連携に係る状況調査」を行っておらず、標記調査のみを行っていた。

H23 【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

<調査対象>

*滋賀県歯科医師会会員診療所(下記病院口腔外科を除く) 476診療所

*病院口腔外科(「病院歯科と歯科医師会との病診連携推進協議会」参加病院) 15病院

<調査対象期間>

*平成23年6月～平成24年3月

<調査実施方法>

*調査票郵送による自記式調査とし、FAXによる返信で回収

<調査実施時期>

*平成24年3月30日～平成24年4月13日(締切)

<回収状況>

*滋賀県歯科医師会会員診療所 210/476診療所(44%)

※回答した210診療所のうち「連携数0」が179、「連携数が1以上」が31。

*病院口腔外科 15/15病院(100%)

1. 患者情報提供数概況 <数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数>

連携使用様式および 医科→歯科/歯科→医科		滋賀県歯科医師会 会員診療所 (病院口腔外科除く) における連携	病院口腔外科 における 院内・外部診療所 との連携	小計	総計	比率 (件数)	
様式 「歯と口の健康管理票」 を用いての連携	医科→歯科	22 (8)	0 (0)	22 (8)	88 (22)	5%	19%
	歯科→医科	66 (16)	0 (0)	66 (16)		14%	
「歯と口の健康管理票」 以外の様式を 用いての連携	医科→歯科	19 (7)	277 (13)	296 (20)	374 (24)	64%	81%
	歯科→医科	15 (3)	63 (8)	78 (11)		17%	
総計		122 (31)	340 (15)	462 (46)			
比率(件数)		26%	74%				

※「歯と口の健康管理票」と「紹介状」など、様式を併用する場合があります。ここでは実際の連携数を出すため、重複の場合は推奨様式である「歯と口の健康管理票」のみをカウントしている。

重複を含めたカウントは後述の「3. 連携様式別集計」で行っている。

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計と「総計」は一致しない。(総計が実際の医療機関数)

◆医科→歯科・歯科→医科別の集計

	件数(医療機関数)	件数割合	医療機関数割合
医科→歯科の患者情報提供数合計	318 (28)	69%	61%
歯科→医科の患者情報提供数合計	144 (27)	31%	59%

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があり、「医療機関数割合」は実際の医療機関数を母数とするため、双方の合計は100%を超える。

【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

◎数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計と「小計」は一致しない。
(小計が実際の医療機関数)

2. 会員診療所／病院別集計

◆会員診療所(病院除く)における連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	11 (2)	5 (3)	0 (0)	9 (6)	0 (0)	1 (1)	15 (3)	41 (15)
歯科→医科	20 (5)	16 (3)	5 (1)	21 (6)	5 (1)	3 (1)	11 (2)	81 (19)
小計	31 (6)	21 (6)	5 (1)	30 (11)	5 (1)	4 (2)	26 (4)	122 (31)

◆病院口腔外科における院内・外部診療所との連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	93 (4)	10 (2)	88 (1)	19 (2)	30 (1)	37 (3)	0 (0)	277 (13)
歯科→医科	16 (2)	8 (1)	5 (1)	0 (0)	19 (2)	1 (1)	14 (1)	63 (8)
小計	109 (4)	18 (2)	93 (1)	19 (2)	49 (2)	38 (3)	14 (1)	340 (15)

3. 連携様式別集計

◆様式「歯と口の健康管理票」を用いての連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	11 (2)	3 (1)	0 (0)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (8)
歯科→医科	11 (3)	16 (3)	5 (1)	21 (6)	5 (1)	3 (1)	5 (1)	66 (16)
小計	22 (4)	19 (4)	5 (1)	29 (10)	5 (1)	3 (1)	5 (1)	88 (22)

◆「歯と口の健康管理票」以外の様式を用いての連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計	
医科→歯科	93 (4)	12 (4)	88 (1)	20 (3)	30 (1)	38 (4)	15 (3)	296 (20)	
歯科→医科	25 (4)	8 (1)	5 (1)	0 (0)	19 (2)	1 (1)	20 (2)	78 (11)	
小計	118 (6)	20 (4)	93 (1)	20 (3)	49 (2)	39 (4)	35 (4)	374 (24)	
用いた様式	糖尿病地域連携 クリティカルパス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	12 (1)	
	糖尿病連携手帳	23 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	48 (1)	1 (1)	76 (5)	
	紹介状	103 (6)	20 (4)	75 (1)	20 (3)	26 (2)	38 (4)	20 (2)	302 (22)
	その他	39 (4)	0 (0)	18 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (1)	71 (6)
小計	165 (6)	21 (4)	93 (1)	23 (3)	74 (2)	38 (4)	47 (4)	461 (24)	

※1患者に対し複数の様式を用いることがあるため、様式使用数合計は連携数合計より多い。

◎「その他」の様式の内訳

- * 歯科のカルテ(大津・診療所) * 患者服用の薬剤(大津・診療所)
- * 院内パス(社会保険滋賀病院・公立甲賀病院) * 院内LAN(滋賀医科大学附属病院)
- * 院内紹介状(大津市民病院) * 院内対診依頼書(高島市民病院)

H24 【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

<調査対象>

- * 滋賀県歯科医師会会員診療所(下記病院口腔外科を除く) **474診療所**
- * 病院口腔外科(「病院歯科と歯科医師会との病診連携推進協議会」参加病院) **15病院**

<調査対象期間>

- * 平成24年4月～平成25年1月

<調査実施方法>

- * 調査票郵送による自記式調査とし、FAXによる返信で回収

<調査実施時期>

- * 平成25年2月2日～平成25年2月19日(締切)

<回収状況>

- * 滋賀県歯科医師会会員診療所 **245/474診療所(52%)**
 ※回答した245診療所のうち「連携数0」が208、「連携数が1以上」が37。
- * 病院口腔外科 **15/15病院(100%)** *うち1病院は「連携数0」

1. 患者情報提供数概況 <数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数>

連携使用様式および 医科→歯科/歯科→医科		滋賀県歯科医師会 会員診療所 (病院口腔外科除く) における連携	病院口腔外科 における 院内・外部診療所 との連携	小計	総計	比率 (件数)	
「歯と口の健康管理票」 を用いての連携	医科→歯科	6 (4)	0 (0)	6 (4)	44 (12)	1%	10%
	歯科→医科	38 (9)	0 (0)	38 (9)		8%	
「糖尿病連携手帳」 を用いての連携	医科→歯科	18 (9)	10 (1)	28 (10)	51 (12)	6%	11%
	歯科→医科	14 (5)	9 (1)	23 (6)		5%	
上記以外の様式を 用いての連携	医科→歯科	23 (17)	256 (12)	279 (29)	368 (36)	60%	79%
	歯科→医科	20 (8)	69 (9)	89 (17)		19%	
総計		119 (37)	344 (14)	463 (51)			
比率(件数)		26%	74%				

- ※H24年度より「歯と口の健康管理票」に加えて「糖尿病連携手帳」を推奨様式とすることになり、上記の通り「糖尿病連携手帳」の個別集計を追加した。
- 「糖尿病連携手帳」と「紹介状」など、様式を併用する場合があります、ここでは実際の連携数を出すため、重複の場合は推奨様式である「歯と口の健康管理票」「糖尿病連携手帳」のみをカウントしている。
- 重複を含めたカウントは後述の「3. 連携様式別集計」で行っている。
- ※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計と「総計」は一致しない。(総計が実際の医療機関数)

◆医科→歯科・歯科→医科別の集計

	件数(医療機関数)	件数割合	医療機関数割合
医科→歯科の患者情報提供数合計	313 (42)	68%	82%
歯科→医科の患者情報提供数合計	150 (32)	32%	63%

- ※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があり、「医療機関数割合」は実際の医療機関数を母数とするため、双方の合計は100%を超える。

【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

◎数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計と「小計」は一致しない。
(小計が実際の医療機関数)

2. 会員診療所／病院別集計

◆会員診療所(病院除く)における連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	3 (3)	6 (1)	4 (3)	11 (6)	12 (5)	6 (3)	5 (3)	47 (24)
歯科→医科	9 (3)	22 (6)	0 (0)	7 (3)	18 (4)	15 (3)	1 (1)	72 (20)
小計	12 (3)	28 (6)	4 (3)	18 (9)	30 (7)	21 (5)	6 (4)	119 (37)

◆病院口腔外科における院内・外部診療所との連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	101 (4)	10 (1)	80 (1)	31 (2)	15 (2)	27 (2)	2 (1)	266 (13)
歯科→医科	7 (2)	22 (2)	2 (1)	29 (2)	13 (2)	0 (0)	5 (1)	78 (10)
小計	108 (4)	32 (2)	82 (1)	60 (2)	28 (2)	27 (2)	7 (1)	344 (14)

3. 連携様式別集計

◆様式「歯と口の健康管理票」を用いての連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	6 (4)
歯科→医科	5 (2)	11 (2)	0 (0)	4 (2)	10 (2)	8 (1)	0 (0)	38 (9)
小計	6 (2)	11 (2)	0 (0)	7 (4)	10 (2)	10 (2)	0 (0)	44 (12)

◆様式「糖尿病連携手帳」を用いての連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	1 (1)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	20 (5)	2 (1)	0 (0)	28 (9)
歯科→医科	0 (0)	9 (3)	0 (0)	0 (0)	14 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (5)
小計	1 (1)	10 (3)	2 (1)	2 (1)	34 (5)	2 (1)	0 (0)	51 (12)

◆上記以外の様式を用いての連携

	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計	
医科→歯科	102 (5)	15 (4)	82 (3)	37 (6)	7 (4)	29 (3)	7 (4)	279 (29)	
歯科→医科	11 (3)	24 (3)	2 (1)	32 (3)	7 (3)	7 (2)	6 (2)	89 (17)	
小計	113 (6)	39 (6)	84 (3)	69 (7)	14 (5)	36 (5)	13 (4)	368 (36)	
用いた様式	糖尿病地域連携クリティカルパス	53 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	54 (2)
	紹介状	113 (6)	38 (5)	83 (2)	66 (6)	14 (5)	35 (4)	11 (3)	360 (31)
	その他	0 (0)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (0)	3 (2)	5 (3)	13 (8)
小計	166 (6)	39 (6)	84 (3)	69 (7)	14 (5)	38 (5)	17 (4)	427 (36)	

※1患者に対し複数の様式を用いることがあるため、様式使用数合計は連携数合計より多い。

◎「その他」の様式の内訳

*医師より口頭で歯科受診を勧められて来院した／口頭で医科受診を勧めた患者(13件全て)

H25【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

<調査対象>

* 滋賀県歯科医師会会員診療所(下記病院口腔外科を除く) **469診療所**

* 病院口腔外科(滋賀県病院協会加盟病院のうち歯科・口腔外科を有する病院) **21病院**

<調査対象期間>

* 平成25年1月～平成25年12月

<調査実施方法>

* 調査票郵送による自記式調査とし、FAXによる返信で回収

<調査実施時期>

* 平成25年12月下旬～平成26年1月17日(締切)

<回収状況>

* 滋賀県歯科医師会会員診療所 **402/469診療所(86%)**

※回答した402診療所のうち「連携数0」が352、「連携数が1以上」が50。

* 病院口腔外科 **17/21病院(81%)** *うち4病院は「連携数0」

1. 患者情報提供数概況 <数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数>

連携使用様式および 医科→歯科/歯科→医科		滋賀県歯科医師会 会員診療所 (病院口腔外科除く) における連携	病院口腔外科 における 院内・外部診療所 との連携	小計	総計	比率 (件数)	
「歯と口の健康管理票」 を用いての連携	医科→歯科	8 (3)	0 (0)	8 (3)	18 (8)	0%	1%
	歯科→医科	10 (7)	0 (0)	10 (7)		1%	
「糖尿病連携手帳」 を用いての連携	医科→歯科	11 (9)	506 (2)	517 (11)	593 (15)	28%	32%
	歯科→医科	10 (8)	66 (1)	76 (9)		4%	
上記以外の様式を 用いての連携	医科→歯科	38 (21)	1687 (13)	1725 (34)	1845 (50)	92%	99%
	歯科→医科	39 (20)	81 (6)	120 (26)		6%	
総計		98 (50)	1768 (13)	1866 (63)			
比率(件数)		5%	95%				

※患者情報提供に複数の様式を用いる場合が多く、様式別の連携数の合計と「総計」の連携数とは一致しない(総計は重複を除いている)。

また、1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計も「総計」とは一致しない。(いずれも総計が実際の連携数・医療機関数)

◆医科→歯科・歯科→医科別の集計

	件数(医療機関数)	件数割合	医療機関数割合
医科→歯科の患者情報提供数合計	2250 (48)	121%	76%
歯科→医科の患者情報提供数合計	206 (42)	11%	67%

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があり、「医療機関数割合」は実際の医療機関数を母数とするため、双方の合計は100%を超える。

【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数 調査集計】

◎数値は患者情報提供件数、()内は実施医療機関数

※1医療機関で医科→歯科・歯科→医科両方の連携を行っている場合があるので、「医科→歯科」「歯科→医科」の医療機関数の合計と「小計」は一致しない。
(小計が実際の医療機関数)

2. 会員診療所／病院別集計

◆会員診療所(病院除く)における連携

	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	3 (2)	5 (4)	0 (0)	15 (12)	6 (4)	6 (4)	14 (4)	49 (30)
歯科→医科	15 (5)	16 (9)	3 (1)	6 (4)	5 (5)	3 (2)	1 (1)	49 (27)
小計	18 (7)	21 (12)	3 (1)	21 (15)	11 (7)	9 (4)	15 (4)	98 (50)

◆病院口腔外科における院内・外部診療所との連携

	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	177 (4)	31 (2)	120 (1)	834 (1)	501 (2)	22 (2)	2 (1)	1687 (13)
歯科→医科	7 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	69 (2)	0 (0)	3 (1)	81 (6)
小計	184 (4)	33 (2)	120 (1)	834 (1)	570 (2)	22 (2)	5 (1)	1768 (13)

3. 連携様式別集計

◆様式「歯と口の健康管理票」を用いての連携

	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	8 (3)
歯科→医科	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (3)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	10 (7)
小計	0 (0)	2 (2)	0 (0)	12 (4)	1 (1)	3 (1)	0 (0)	18 (8)

◆様式「糖尿病連携手帳」を用いての連携

	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計
医科→歯科	0 (0)	17 (2)	0 (0)	2 (2)	494 (3)	3 (3)	1 (1)	517 (11)
歯科→医科	2 (1)	2 (1)	0 (0)	3 (2)	68 (3)	1 (2)	0 (0)	76 (9)
小計	2 (1)	19 (3)	0 (0)	5 (3)	562 (4)	4 (3)	1 (1)	593 (15)

◆上記以外の様式を用いての連携

	大津	南部	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	合計	
医科→歯科	180 (6)	35 (5)	120 (1)	844 (10)	504 (4)	27 (5)	15 (3)	1725 (34)	
歯科→医科	20 (6)	15 (8)	3 (1)	3 (2)	72 (5)	3 (2)	4 (2)	120 (26)	
小計	200 (10)	50 (11)	123 (2)	847 (12)	576 (6)	30 (5)	19 (4)	1845 (50)	
用いた様式	糖尿病地域連携クリティカルパス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	5 (2)
	紹介状	199 (9)	49 (11)	123 (2)	845 (11)	576 (6)	30 (5)	15 (2)	1837 (46)
	その他	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	7 (4)
小計	202 (10)	49 (11)	123 (2)	847 (12)	576 (6)	33 (5)	19 (4)	1849 (50)	

※1患者に対し複数の様式を用いることがあるため、様式使用数合計は連携数合計より多い。

◎「その他」の様式の内訳

*「医師より電話で」(4件)、「患者が口頭で」(2件)、「歯科医師会リーフレット」(1件)

【糖尿病-歯周病 医科歯科連携実施数調査 平成23年度～25年度 数値比較】

* 事業の委託開始時期の関係で、年度ごとに調査対象期間は違い(H23・H24:10ヶ月、H25:12ヶ月)、会員数・病院数にも変動があるため正確な比較ではないが、大まかな推移をみるための参考とされたい。
(H24年度は「連携状況調査」とも調査対象期間が異なるため、連携実施医療機関数等がやや異なる)

<回答数・回収率比較>

	歯科医師会会員			病院			考察
	回答数	送付数	回答率	回答数	送付数	回答率	
H23	210	476	44%	15	15	100%	歯科医師会会員は年々増加傾向が認められ、特にH25年は高回答率である。今回の医科歯科連携事業の成果として、会員に意識が浸透してきたと評価できる。病院歯科は3年とも回答率が高く、以前から連携に関して高い意識があったことが伺える。
H24	245	474	52%	15	15	100%	
H25	402	469	86%	17	21	81%	

1. 連携種別(医科→歯科/歯科→医科)による比較

	医科→歯科		歯科→医科		医科→歯科 / 歯科→医科 の連携数割合	考察
	連携数	実施医療 機関数	連携数	実施医療 機関数		
H23	318	28	144	27	69%/31%	H23・24年は連携数や連携種別割合に大きな変化はなかったが、H25年に医科から歯科への連携数が急増した。これは主に医科(病院医科・外部診療所)から病院歯科への連携数増加が起因している。
H24	313	43	150	32	68%/32%	
H25	1736	50	130	43	93%/7%	

2. 連携実施医療機関(歯科医師会会員診療所/病院)による比較

	歯科医師会会員診療所		病院		考察
	連携数	実施医療機関数	連携数	実施医療機関数	
H23	122	31	340	15	会員診療所は連携実施医療機関数は増加しているが連携数は増えていない。病院歯科は連携数がH25年に大きく増加した。これは、病院ではシステムとして連携体制構築が進んでいると考えられ、地域診療所レベルでも今後の参考になるのではないかと。
H24	119	37	344	14	
H25	98	50	1768	13	

3. 連携使用様式による比較(連携数比較)

	滋賀県歯科医師会 歯と口の健康管理票	日本糖尿病協会 糖尿病連携手帳	紹介状	その他	考察
	H23	88	76	215	
H24	44	51	301	67	
H25	18	593	1243	12	

※実際の連携数に即するため、1患者に複数の連携様式を使用する場合は、推奨様式である「歯と口の健康管理票」「糖尿病連携手帳」のみをカウントしている。なお、この2様式の重複は無い。

※H23は「その他」に「病院内連携の独自様式」を含む。(H24・25は紹介状に含んでいる)

4. 会員診療所で、歯科から医科への紹介患者について、その後の医科受診が確認できた患者数比較

	実際の医科 受診確認数	歯科→医科連携 数(会員診療所)	受診率	考察
H23	5	81	6%	受診数・率は3年間で大きく増加した。これは、医科受診を勧める歯科医師と説明を受ける患者の両者が、連携の重要性を認識した結果であろう。本事業における数々の研修会や啓発の成果と評価できる。
H24	22	72	31%	
H25	32	49	65%	

(考察:滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員 坂本 耕造)

総論

4年間の本事業を終えるにあたり、アンケートによる状況調査結果を踏まえ、事業の成果と反省点について、研修会、連携ツールと連携実数、県民への啓発、地域での検討会の4つの項目に分けて整理する。今後の課題については、報告書の提言においてまとめることとする。

研修会：糖尿病と歯周病の密接な関係について医師と歯科医師の理解を深めるため、医科歯科合同研修会を企画した。特に歯科医師会では糖尿病に関する講演会が複数回開催され、理解はかなり深まったと思われる。ただ、大半の地域で医師が歯科医師に対して、歯科医師が医師に対して講演する、といった形態で行われたため他職種に対しての情報提供に留まり、相互の研修会には至らなかった。ただ、糖尿病だけではなく、さまざまな連携に関する合同の研修会が必要ではないかとの意見も双方から出され、連携について考えるきっかけにはなった。

連携ツールと連携実数：連携ツールは従来からの紹介状によるものが多い。事業当初、歯科医師側から医師側への情報提供のため独自の様式（歯と口の健康管理票）を作成し普及に努めたが、双方からシンプルを求める声が多く聞こえたため、糖尿病協会作成の「糖尿病連携手帳」を連携ツールとして推進することとした。糖尿病手帳をお持ちでない糖尿病患者さんには歯科医師からも手帳の配布を促したが、本年、この手帳の使用が急増した。シンプルで使用しやすいものと認知され、普及が進んだと思われる。残念ながら、開業歯科医の連携実数は本年度減少しているが、連携実施医療機関については増加している。さらに特筆すべきは病院での内科と歯科の連携が急増したことで、まさに本事業の成果であると思われる。

県民への啓発：県民へ直接啓発することを目的に15秒のスポットCMを作成し、びわ湖放送にて放映した。さらに解説を加えて院内待合用DVDとし、県内病院で放映してもらうよう依頼した。口腔外科のある病院ではいくつか放映していただいたが、それ以外の病院ではまだ実施に至っていない。病院の糖尿病教室での歯周病に関する講話は、直接糖尿病患者に訴えることができ、有効な啓発と思われる。アンケートに答えた病院の半数以上が前向きに検討していただいている。歯科医師会作成の啓発ポスター、パンフレットを医師会の先生にも活用いただいております、更なる普及が期待される。

地域での検討会：医師会と歯科医師会の組織としての交流がない地域がほとんどであったが、本事業を通して新たな交流、顔の見える関係づくりがスタートできた。ただ、今後、連携の糸を太くするよう、また、さまざまな疾患でのあるいは訪問診療における連携の新たな糸が増えるよう期待が高まっている。

滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会 委員長 森田 潤

「医科歯科連携（主に糖尿病－歯周病）に係る状況調査」調査報告書

発行日 平成26年2月28日

発行所 (一社) 滋賀県歯科医師会 滋賀県大津市京町4丁目3-28 TEL 077-523-2787

編集 滋賀県歯科医師会 歯周病と糖尿病に係る歯科医科連携協議会

森田 潤 澤 秀樹 眞岡 淳之 小川 益弘 堤 正彦 坂本 耕造

③「病院 歯科・口腔外科」対象調査票

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査【病院 歯科・口腔外科】

医療機関名		地域	大津・湖南・甲賀・東近江 湖東・湖北・湖西
連絡先 TEL		記入者	役職 氏名

(1) 平成25年1月～12月における、貴院歯科・口腔外科から貴院内科（または外部内科診療所）への歯周病患者の紹介数（累計）及び内訳をご記入下さい。

累計 _____ 件（うち、貴院内科への紹介 _____ 件、外部診療所への紹介 _____ 件）

(2) 平成25年1月～12月における、貴院内科（または外部内科診療所）から貴院歯科・口腔外科への糖尿病患者の紹介数（累計）及び内訳をご記入下さい。

累計 _____ 件（うち、貴院内科からの紹介 _____ 件、外部診療所からの紹介 _____ 件）

(3) (1) (2) の連携で用いたツールとして使用しているものに○をつけて下さい。（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 糖尿病地域連携クリティカルパス | 2. 糖尿病連携手帳 |
| 3. 紹介状（院内他科受診依頼箋等を含む） | 4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」 |
| 5. その他（ _____ ） | |

(4) 貴院での糖尿病教室等の糖尿病療養指導に、歯科医師会派遣の歯科医師による患者対象の歯周病予防指導（講習会）を加えることは可能ですか。どれか1つに○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 既に院内で行っている | 2. 今は行っていないが今後行ってみたい |
| 3. 不可（糖尿病教室を行っていない等） | |

(5) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取り組み案等についてご記入下さい。

(6) 県歯科医師会作成・配布の「糖尿病と歯周病の関係」に関する下記媒体について活用しておられますか。どれか1つに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|------------|
| ◇院内待合室用 DVD | 1. 活用している（待合室等で放映） | 2. 活用していない |
| ◇リーフレット・ポスター | 1. 活用している（保健指導で / 待合室設置） | 2. 活用していない |
| ◇糖尿病-歯周病連携推進歯科医療機関リスト | 1. 活用している | 2. 活用していない |

(7) 糖尿病以外の医科との医療連携について、行ったことがあるものに○をつけて下さい。（院内での他科との連携も含む。複数回答可）

- | | | | |
|-----------------|-------|-----------------|----------|
| 1. 在宅医療 | 2. がん | 3. 冠動脈疾患 | 4. 脳血管疾患 |
| 5. その他（ _____ ） | | 6. 医科と連携したことはない | |

(8) (7) における医科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取り組み案等についてご記入下さい。

ありがとうございました。＜FAX：077-523-2788 滋賀県歯科医師会 行＞

④「病院 地域連携関係部署（歯科・口腔外科のない病院）」対象調査票

医科歯科連携（主に糖尿病-歯周病）に係る状況調査 【病院（地域連携関係部署）】

医療機関名		地域	大津・湖南・甲賀・東近江 湖東・湖北・湖西
連絡先 TEL		記入者	役職 氏名

(1) 過去1年間において、糖尿病と歯周病に係る医療連携（他病院歯科・外部歯科診療所への患者情報提供）を行われましたか。どれか1つに○をつけて下さい。

1. はい（歯周病と糖尿病に係る歯科との連携を行った）
2. 糖尿病治療を行っているが歯科との連携はない→（3）へ
3. 糖尿病治療を行っていない→（5）へ

(2) (1) の連携で用いたツールとして使用しているものに○をつけて下さい。（複数回答可）

1. 糖尿病地域連携クリティカルパス
2. 糖尿病連携手帳
3. 紹介状
4. 滋賀県歯科医師会「歯と口の健康管理票」
5. その他（ ）

(3) 貴院での糖尿病教室等の糖尿病療養指導に、歯科医師会派遣の歯科医師による患者対象の歯周病予防指導（講習会）を加えることは可能ですか。どれか1つに○をつけて下さい。

1. 既に院内で行っている
2. 今は行っていないが今後行ってみたい
3. 不可（糖尿病教室を行っていない等）

(4) 糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携の推進について、課題と思われることや効果的な取り組み案等についてご記入下さい。

(5) 県歯科医師会作成・配布の「糖尿病と歯周病の関係」に関する下記媒体について活用しておられますか。どれか1つに○をつけて下さい。

- ◇院内待合室用 DVD 1. 活用している（待合室等で放映） 2. 活用していない
- ◇リーフレット・ポスター 1. 活用している（保健指導で / 待合室設置） 2. 活用していない
- ◇糖尿病-歯周病連携推進歯科医療機関リスト 1. 活用している 2. 活用していない

(6) 糖尿病以外の歯科との医療連携について、行ったことがあるものに○をつけて下さい。（複数回答可）

1. 在宅医療
2. がん
3. 冠動脈疾患
4. 脳血管疾患
5. その他（ ）
6. 歯科と連携したことはない

(7) (6) における歯科との医療連携について、課題と思われることや効果的な取り組み案等についてご記入下さい。

ありがとうございました。＜FAX：077-523-2788 滋賀県歯科医師会 行＞